

# 健康通信

## 集中治療について



集中治療センター センター長

### 尾崎 将之

#### 集中治療とは

集中治療とは重症の患者さんに対して、種々の医療専門職が協力して集中的に医療資源を投入することとなるべく早期に回復が得られるような治療をさします。「集中治療」という一様な治療があるわけではなく、患者さんごとに最適な治療をチームで協議しながらおこなっていきます。

#### 集中治療を必要とする疾患

当院の集中治療センターでは、心肺停止や心筋梗塞で救急搬送された重症患者さん、心臓血管手術など大きな手術を受けたあとの患者さんや一般病棟で状

態が悪化した患者さんを収容し、人工呼吸器、人工心肺装置(エクモとも呼ばれます)、持続透析機器など、解析機器を使用した治療と専従の看護師による丁寧なケアを常時提供しています。



人工呼吸器を使用している様子

#### 絶え間ない生体情報の観察

当センターには日勤帯、夜勤帯を問わず医師が常駐し、入室患者さんの状態を心電図、動脈圧ライン、パルスオキシメ

ーター、呼気終末二酸化炭素濃度測定器などを用いて細かくモニタリングしています。

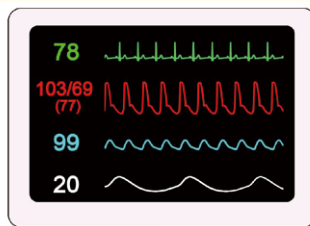
#### 多職種によるチーム医療

重症患者さんの回復には機器や薬剤の適用だけでなく、多面的な視点からの管理が不可欠です。当センターでは医師、看護師とともに、栄養士、薬剤師、理学療法士、臨床工学技士などの多職種が連携して集中治療とケアを行っています。

#### 集中治療の歴史

集中治療はポリオの流行とともに生まれました。デンマークの麻酔科医イブセンがポリオにより呼吸ができなくなつた方に人工呼吸管理を提供するため、医療機器とスタッフが配置された専用の病棟を1952年に作ったのが始まりです。

ちょうど新型コロナウイルス感染症の広がりとともに重症患者さんの治療を



生体情報のモニタリング

現代の集中治療室でおこなっている状況と似ています。重症新型コロナウイルス感染症の治療はまさに集中治療が力を発揮する場面です。

#### 救命 延命 天命

集中治療室では医療機器と人材を結集して治療を行います。それでも病気に勝てないことは時々あります。そしてさまざまな医療機器を使用しているにも関わらず病状が慢性化する場合は、回復を目指した治療というよりも結果的には医療機器を用いて延命をおこなっている状況となってしまうことがあります。多くの場合、病状が悪いときだけ人工呼吸器等を装着して、その後回復されます。救命は絶望的と思われるも、可能な限りの集中治療を行ったからこそ回復される方も中にはいらっしゃると思います。この場合集中治療はまさに救命治療であったこととなります。

市民病院集中治療センターは多くの患者さんの回復に貢献してまいりたいと考えています。